

都道府県名：鳥取県 団体名：三朝温泉かじか蛙保存研究会

地域

三朝温泉かじか蛙保存研究会がご活躍されております東伯郡三朝町は、世界有数のラジウム温泉として有名な三朝温泉街を有する、人口約7,300人の街です。街の南部には、標高700m～1,000m前後の中国山地が連なり、山々に囲まれた三朝町では、自然の恵みを活かして造られた農産物や伝統工芸品が、地元で生産され、観光客の注目を集めています。

経歴

三朝温泉かじか蛙保存研究会は、昭和54年に、かじか蛙の美しい鳴き声を楽しむ集まり「かじか蛙の声を聞く会」の活動をきっかけにして発足しました。同会では、これまでに、かじか蛙の保護活動に加えて、多くの生命をはぐくんできた三朝温泉街を流れる三徳川の清流を、次の世代に引き継ぐことを願って河川を守る活動に取り組んできています。

平成8年には、「三徳川のせせらぎとかじか蛙」が、「日本の音風景百選」にも選出されました。

功績内容

- ・平成6年～平成22年現在までの16年間、三徳川源流域での広葉樹の植樹活動を実施し、延べ1,000人以上が参加するなど、かじか蛙の生息環境の整備だけでなく、水源地域の保全にも貢献しています。
- ・「かじか蛙サミット」「森と川と海のフォーラム」「かじかの声を聞くタベ」などを通じて、県内外の参加者や観光客に、かじか蛙、水環境保全の必要性を訴える啓発活動を地道に行い、水環境への意識の向上に尽力されています。



かじか蛙



源流域での植樹風景



植樹風景(子供から大人まで皆で協力)



三徳川でのおたまじゃくし採り